

令和 7 年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

近畿ブロック

受講番号		氏 名	
------	--	-----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- （1）試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- （2）受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- （3）本冊子は、表紙を含めて 10 頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- （4）試験開始の合図で始めてください。
- （5）解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4 の番号の中から 1 つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2 つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を 0 点とすることがあります。
- （6）電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- （7）試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- （8）答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始 30 分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者の仕事に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、現場における一般事務作業に関する助言を行う。
2. 登録基幹技能者は、現場における元請の管理業務に参画する。
3. 登録基幹技能者は、現場における高度なマネジメント業務を担う。
4. 登録基幹技能者は、現場における元請の補佐をする。

問題 2 建設技能労働者の目標像に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 将来展望
2. 若年者入職
3. 処遇改善
4. 技術職離職

問題 3 職業能力基準に適合した内容に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. レベル 1 とは、登録基幹技能者のことである。
2. レベル 2 とは、分担された作業に基づいて正確に実施できるものをいう。
3. レベル 3 とは、現場管理や工法、技術等について元請の施工管理技術者と協議し、作業手順を組立て、作業員への確かな指示・調整等を行うものをいう。
4. レベル 4 とは、高度な技能を有し、現場管理や工法、技術について元請施工管理技術者と協議できるものをいう。

問題 4 登録基幹技能者の活用に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、国土交通省における工事の総合評価落札方式で加点対象項目として活用されている。
2. 登録基幹技能者は、民間企業における工事の総合評価落札方式で加点対象項目として活用されている。
3. 登録基幹技能者は、元請企業の優良技能者認定制度の要件として活用されている。
4. 登録基幹技能者は、都道府県における工事の総合評価落札方式で加点対象項目として活用されている。

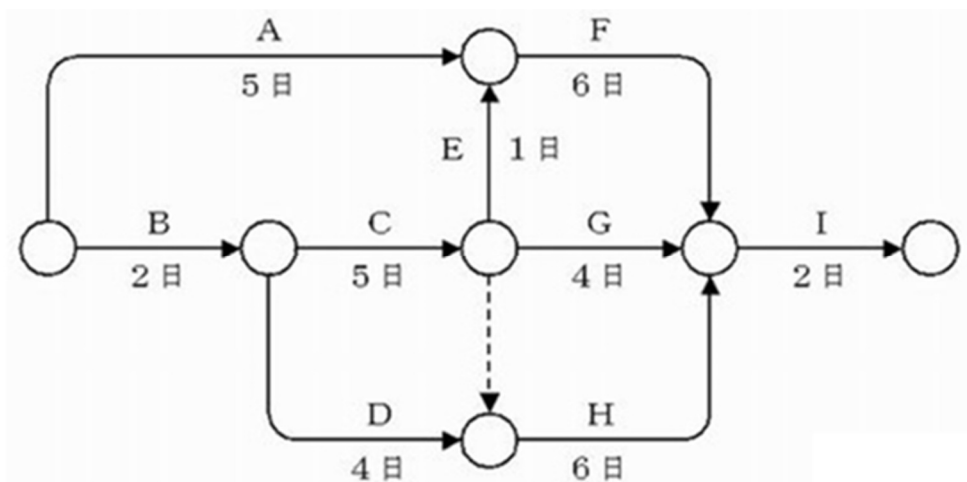
問題5 登録基幹技能者に必要な資質に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 理屈を言う前に実行する。
2. 統率力がある。
3. 決断力を持って行動する。
4. 災害から身体を張って守る。

問題6 レベルに応じた技能者の指導・教育に関して、最も不適当なものはどれか。

1. OJT は、近隣の住民との協力を促す機会を増やすことができる。
2. OJT は、組織外の実態や考え方を知ることができる。
3. OJT は、幅広い職務能力を育成できる。
4. OJT は、外部との接触の機会を提供する。

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表の工期は、16 日である。
2. この工程表は、ネットワーク式工程表である。
3. この工程表のクリティカルパスは、B→C→E→F→I である。
4. この工程表における作業Dのトータルフロートは3 日である。

問題 8 わが国の建設業における労働災害の現状についての次の記述のうち、**最も不適当**なものはどれか。

1. 建設業の安全対策が難しい理由の一つとして、多業種の専門工事業者が作業しているため、各作業間の連絡・調整を図るのが困難であることが挙げられる。
2. 建設工事全体の死亡事故の型別でみると、建設機械等による事故が 55%と圧倒的に多い。
3. わが国の建設業における近年の死亡者数は、年に 250 人を超える。
4. 労働災害とは、労働者が就業中や通勤途上などで負傷、疾病、障害、死亡する災害のことをいう。

問題 9 施工管理の概要に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. BIM は、建築物やインフラストラクチャーなどの不動産資産のライフサイクル全般にわたる意思決定を改善する戦略上重要な役割を果たす。
2. BIM とは、建設時や施設の資産管理におけるデジタル形式であり、発注者とプロジェクト関係者にとっての成果を向上させるために新技術群とデジタル化された情報、プロジェクトのプロセスの改善と資産管理を同時にもたらすものである。
3. BIM は、単なるソフトウェア技術の範囲を超えて、建築プロジェクト全体の生産性向上のための運動全体を指す用語として用いられるようになってきている。
4. BIM は、改修工事のプロジェクトに適用され、CAD は新築工事のプロジェクトに活用されるものである。

問題 1 0 施工計画の流れに関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 施工計画立案にあたり、発注者との契約条件、設計図書を理解することで充分である。
2. 主要工種について施工法や施工手順について技術面および経済性の比較検討を行い、基本計画を作成する。
3. 基本計画に従って各工程の施工方法及び施工順序の検討、施工機械の選定、人員配置、作業期間等の決定を行い、工種別詳細工程を作成する。
4. 計画を実施するための現場組織、資金計画、実行予算、品質管理計画、工程管理計画、安全管理計画、環境保全計画など工事管理のための諸計画を作成する。

問題 1 1 作業手順書作成の目的に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 作業の中で発生するムリ・ムラ・ムダを取り除き、「安全に、早く、安く、出来栄良く、かつ能率良く仕上げる」ための最も理想的な作業順序と急所によって工事目的物を完成させることが作成目的である。
2. 作業手順書は誰がやっても「基準通り」に同じ結果が得られるものである。
3. 作業手順書は、未熟練作業員に仕事を「安全で、正確に、早く」教えるために必要であり、新入社員には不要である。
4. 作業手順書の作成には、仕事をよく知っている登録基幹技能者・安全衛生管理責任者が中心となって、作業員の意見を聞き、それらを加味して作成することが望まれる。

問題 1 2 見積原価の管理に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 土質、周囲の環境、近隣協定や駐車場の有無等、自社の施工に影響するさまざまな現場条件を注意深く確認する。
2. 設計図書では不明確な点や、図面間の相違点などを自社で確認することが大切である。
3. 材料の支給か、取り合い部分の施工の施工はどの業者の責任か、どんな書類があるかなど、原価に直結するので工事範囲を明確化には注意が必要となる。
4. 数量が変われば総額も変わるので、数量の正確さは重要である。

問題 1 3 専門工事業者の原価管理に関して、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 見積りの作成では、現場条件、施工範囲等を検討し、条件に合わせた見積りをすることが大切である。
2. 工事現場では見積内容を理解しておくことが必要であり、契約内と契約外をきちんと仕分けることが、現場の原価管理では重要となる。
3. 見積りでは材料費、労務費、外注費やその他諸経費を明示せずに㎡単価、m³単価等に含まれていることが多いが、実行予算の段階で技能労働者の人数、資機材の数量、現場経費等を明確にしておく。
4. 実行予算の段階では、実際に注文したり手配したりする数量で算定し、計画と実績の数量比較については、工程管理で行えばよい。

問題 1 4 設計品質と施工品質に関して、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 品質には設計段階で定める設計品質（ねらいの品質）と、施工段階で実現する施工品質（出来栄の品質）がある。
2. 設計・監理者、総合工事業者、専門工事業者の3者のみが、設計品質を最終的に施工品質で実現することになる。
3. 設計品質の内容と決め方には、「仕様規定」と「性能規定」がある。
4. 「仕様規定」は、求める品質がより具体的に表現され、その成否の判断も明快で行える一方で、施工に関わる技術革新や経済・社会の変化への柔軟な対応が難しいという点が指摘されている。

問題 1 5 品質保証と ISO 9001 に関して、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 専門工事業者においても、品質マネジメントシステムの国際規格である ISO 9001 の認証を受ける企業が多くなっている。
2. ISO 9001 は、製品の品質を担保、保証するシステムを事前に文書化して、それに対して第三者から認証を受け、それを消費者に開示する仕組みである。
3. 品質についてトップマネジャーが方針を定めて、これを組織的に展開し、個々の現場でそれを確実に実践する企業活動の内容を、発注者、社会全体に文章等で「見える化」する方向性は、今後も強まることが予想されている。
4. 登録基幹技能者には、ISO 9001 に関する文書の作成やそれを使いこなす知識の2つのみが求められる。

問題 1 6 建設業法に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 建設工事の請負契約の当事者は、各々の対等な立場における合意に基づいて公正な契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行しなければならない。
2. 建設工事の契約の締結に際して工事内容や請負代金の額などを書面に記載するだけでよい。
3. 注文者は、自己の取引上の地位を不当に利用して、その注文した建設工事を施工するために通常必要と認められる原価に満たない金額を請負代金の額とする請負契約を締結してはならない。
4. 注文者は、その注文した建設工事を施工するために通常必要と認められる期間に比して著しく短い期間を工期とする請負契約としてはならない。

問題 1 7 建設業法令遵守ガイドラインに関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 建設業の担い手を確保するために、処遇改善等を通じて建設業への若年層の入職を促進することが必要である。
2. 赤伝処理等による一方的な代金の差し引き等、下請負人へのしわ寄せによって技能労働者への適正な賃金水準が確保できなくなるなど、建設業が持続的な発展を遂げる上で阻害要因となりかねない。
3. 「建設業法令遵守ガイドライン」には、どのような行為が建設業法に違反するかを具体的に示しているが、法令違反行為についてはその都度異なるので個別に検討することとなる。
4. 「建設業法令遵守ガイドライン」は、元請負人と下請負人との対等な関係の構築及び公正かつ透明な取引の実現を図ることを目的としている。

問題 1 8 左官の用語の定義に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 洗い出しとは、碎石を入れた上塗りが完全に乾燥しないうちに、噴霧器等で水洗いして、碎石の頭を洗い出して仕上げをすることである。
2. 色土とは、色のついた粘土の一種で、色彩のある京土が有名である。
3. 現場調合とは、予め工場などで結合材料、骨材、混和材料などが配合されたものである。
4. 空練りとは、主材料に混ぜ合わせる混和材（添加物）が全量むらなく均一になるまで、水を入れないで完全に混練することである。

問題 1 9 左官材料に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 消石灰の湿式消化法とは、水中に生石灰を沈めて消化させる方法で、高熱を発して膨張させながら消化することである。
2. 土佐漆喰は、塩焼消石灰と3か月以上発酵させた稲藁、および水を練り合わせたものとする。稲藁を発酵させることによって糊の成分とし、一般的な漆喰のように糊材を混入していない。
3. 半水せっこうを主原料としたせっこうプラスターの特徴は、硬化に伴って膨張することである。
4. せっこうは火には強く、水にも強い性質である。

問題 2 0 補助材料に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 吸水調整材は日本建築仕上学会規格 M101「セメントモルタル塗り用吸水調整材の品質基準」に適合するものを用いる。
2. 吸水調整材には、主として合成樹脂エマルジョンが用いられ、エチレン酢酸ビニル系およびアクリル系の2種類が代表的である。
3. エチレン酢酸ビニル系の合成高分子エマルジョンを主原料とした吸水調整材は、主として原液で用いる。
4. 定木の種類を大別すると、刃定木、走り定木、へび定木およびプラスチック製の埋め込み用定木の4つになる。

問題 2 1 左官下地に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 下塗りに先立ち、コンクリートに、ひび割れ・ジャンカ・過度の凹凸などがある場合は、監理者に報告し、対応を協議する。
2. 不陸調整として行うつけ送り1回の塗り厚を9mm以内とし、それ以上あるときは2回塗り以上とする。
3. 石膏ボードの代表的な側面形状で塗り壁下地に適しているものはスクエアエッジである。
4. 左官下地の要求される条件として、仕上げ材よりも強度・剛性の大きいことがある。

問題 2 2 ラス系下地の二層下地通気構法に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 平ラスは木造外装用として不適格であるが、ひび割れ防止の補強材としては部分的に使用できる。
2. 波型ラスを留め付けるステーブルは、足の長さ 10mm の 1210F 程度のものを使用する。
3. 防水紙に使用するアスファルトフェルトは 430 又は同等の性能を有するものとし、継目を縦、横とも 90mm 以上重ね合わせる。
4. ラス系下地の二層下地通気構法とは、通気胴縁の屋外側にラス下地板や面材を留め付け、その上に波型ラスをステーブルで留め付ける仕様である。

問題 2 3 法律・書籍に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 日本建築学会で「建築工事標準仕様書・同解説」が制定されており、左官工事は「JIS15」となっている。
2. 「左官施工法 2020」は（一社）日本左官業組合連合会が発行しており、「建築工事標準仕様書・同解説」を基にした内容の副読本として、時代に即応しながら普遍的な基礎技能と知識を習得することに重点を置いている。
3. 「公共建築工事標準仕様書」の内容は、一般事項や仮設等の共通工事、施工方法、検査・試験方法など、公共建築工事の共通の事項および工法・検査等について標準的な仕様を取りまとめている。
4. 「建築基準法」は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的としている。

問題 2 4 セメントモルタル塗り工法の記述に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. セメントモルタル塗付け後の急激な乾燥により、強度が低く接着力も不十分な塗り層となることは剥離の原因となり、この現象を「ドライアウト」と呼ぶ。
2. セメントモルタルの調合は、下地側に塗られるものほど強度を高くする。
3. セメントモルタルは加水と同時に水和反応が始まり、温度によっても凝結時間が変化するので、可使時間は冬期 120 分夏期 60 分を目安とする。
4. セメントモルタル塗りの表面仕上げは、「木鋺仕上げ」「金鋺仕上げ」「刷毛引き仕上げ」が主な基本種類となる。塗装下地には木鋺仕上げとする。

問題 2 5 左官工事に関する記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 左官工事の品質管理項目として、仕上げ面が平坦であることが要求されている。
2. 左官工事の特徴に、複雑な形状でも自由に形成することができる「展伸性」と、シームレスな仕上げが可能な「可塑性」という性質がある。
3. 左官仕上げの故障と原因は、様々な要因が複雑に作用し合っている場合が多いため、ひとえに左官技能者の施工不良によるものと判断せず、しっかりと調査と検証を行う。
4. 左官工事の目的として、「断熱や温湿度の調整」「美観の付与」などの他に、「防水や漏水防止」も含まれている。